

フロリダ大学留学体験記

法文学部言語文化学科 福田桃菜

現在、フロリダ大学では冬休み期間中です。12月6日から12日まで1週間の期末期間を経て、13日から1月11日までの約1ヶ月間の冬休みがあります。今回のレポートでは、フロリダ大学の冬休み期間の様子と、私の冬休みの過ごし方について、お話しさせていただきます。

まず、フロリダ大学の冬休みの様子ですが、現地の学生も、国際学生も、ほとんど全員が、大学のあるゲインズビルという街からいなくなります。これまで出会った現地の学生は、ゲインズビル出身の学生はおらず、ほとんどの学生は車で2時間以上かかる、フロリダ州内の別の街出身です。したがって、現地の学生は期末期間が終わると、すぐにそれぞれの地元に帰ります。また、交換留学生や編入の学生、大学院生などの現地以外の学生も、期末期間が終われば自分の国に飛行機で帰りました。また、そもそも日本以外からの交換留学生は、半期だけの学生が一般的で、学期が終われば帰って来ないので、この街で冬休みは過ごしません。冬休みに日本に帰るという選択をしないなら、アメリカ国内を旅行するという過ごし方が一般的であると感じました。

実際に私も、冬休み期間を利用して、アメリカ国内を旅行しました。私の場合、仲の良い高校の友人が、偶然現在TAとしてオハイオ州で日本語を教えているので、一緒にニューヨークに1週間旅行しました。ニューヨークは、アメリカの中でも多様な文化が混在していて、アメリカ国内にしては比較的交通の便もよく、魅力が溢れる、移動もしやすい街でした。個人的にはチャイナタウンの料理が忘れられません。チャイナタウンでは、全てがニューヨークの物価では信じられないほど安く、味も最高に美味しいです。夜のタイムズスクエアは、巨大スクリーンが街を照らしていて、歩いているだけでワクワクします。私は美術館に行くことが趣味なので、ニューヨークの有名なMoMAとThe Metも訪れました。私は、都会の雰囲気が好きなので、私と同じような人にとっては本当におすすめです。

ニューヨークの旅行の後は、フロリダ州内のオーランドという街に、1週間弱滞在しました。私は、2年前に、島根大学が実施している短期フロリダプログラムに参加し、ホームステイをした経験があり、現在もホストマザーと連絡を取り合い、たまに会っています。前は、アメリカの祝日サンクスギビングに2年ぶりに再開し、その際にクリスマスも誘っていただいたので、クリスマスも一緒に過ごさせてもらえることになりました。フロリダ短期プログラムに参加した後に、フロリダ大学に交換留学をする利点として、ホストファミリーがいるので、アメリカの祝日はリアルなアメリカ文化を体験できる、という点が挙げられます。普段食べることのないアメリカの家庭料理が食べられたり、大学では出会えないさまざまな世代の人と話すことができたりするので、本当に貴重な体験です。アメリカに住む前から家族のように接してくれる人脈ができ、実際のアメリカでの生活の雰囲気を知る

ことができるので、交換留学に興味がある方は、まずフロリダ短期プログラムに参加することをお勧めします。



